

教育最前線

連載 7

神奈川県自動車ディーラー交通安全対策推進協議会・保土ヶ谷地区安全運転講習会

地域社会の交通安全に貢献するために 県内のディーラーが、一致団結して取り組む



保土ヶ谷地区の安全運転講習会には12名の高齢ドライバーが参加

神奈川県自動車ディーラー交通安全対策推進協議会(会長・志摩寿一郎・日産プリンス神奈川販売(株) 会長・以下、ディーラー交対協)は、神奈川県内のディーラー(四輪販売会社) 93社で構成されている組織である。「ディーラーの各事業所における交通事故防止と、ユーザーに対する効果的な交通安全啓発活動の推進を目的としています」と、ディーラー交対協の事務局を担当する城所英俊さん(神奈川県自動車販売協会業務部長)は話す。ディーラー交対協は全国に先駆け、神奈川県で1991年に発足し、現在では各都道府県に設置されている。神奈川県では、県内を51地区に分け、地区ごとに安全運転講習会や交通安全教室、交通安全啓発活動を行っている。その中で、熱心に活動を継続している地区の1つが保土ヶ谷地区だ。

ポイント①
地区内のディーラーが系列を超えて協力
実技や座学は鴨居自動車学校の教習指導

保土ヶ谷地区では独自に高齢ドライバーのお客様を対象にした安全運転講習会を毎年開催している。7回目となる今年7月9日に鴨居自動車学校(神奈川県横浜市)で行われた。この日は12名の高齢ドライバーが参加した。

行役を務めたディーラー交対協保土ヶ谷地区副会長の秋本泰孝さん(ホンダカーズ横浜・三ツ沢店店長)は「私たちはクルマを販売するという立場から、ユーザーであるお客様の安全意識を高めていただきたいと考えています。特に高齢ドライバーの方が事故にあわないように、ホンダをはじめトヨタ、日産など地区内のディーラー各社が一致団結し、講習会を開催しています。また、開催にあたっては神奈川県警察本部や地元の警察署からもアドバイスをいただいています」と話す。

ポイント②
体験を通して、実感していただく
講習会では、参加者全員が実車で指定されたコースを走行する運転実技を行っている。高齢ドライバーには普段通り運転してもらい、それに対して助手席の教習指導員がアドバイスしていく。例えば、コースの途中には反対車線に駐車しているバスがあり、その後方にはバイクが置かれている。そのバイクを見つけたら、参加者はブレーキをかけて停止。バイクを発見してから、すぐにブレーキをかけても、その間にクルマは進んでいる。駐車車両が多い市街地を走行する時には、危険予測をしながら、いつでもブレーキをかける準備をしておくことが必要である。教習指導員がアドバイスした。講習会に参加した亀井東海さん



駐車車両に隠れているバイクが見えたところで急ブレーキをかけて停止してもらう

[安全運転講習会の主な内容]

1 日常点検



エンジンオイルやタイヤなどのチェックポイントを説明。また万一、道路上でクルマが故障した時の対応として、停止表示板や発炎筒の使い方を再確認。

2 クルマの死角



参加者に運転席に座ってもらい、死角に入ったバイクはバックミラーやドアミラーには映らないことを確認してもらう。

4 シートベルトコンビンサー

5km/hからの模擬衝突の体験により、どの席でもシートベルトを着用しないと身体を支えられないことを理解してもらう。



3 運転実技

参加者一人ひとりが順番にクルマを運転し、指定されたコースを走行する。



コースには一時停止場所、見通しの悪い交差点、パイロンで囲まれた狭路などがある。



コースの途中では停止線の手前で停止できているか、降車して確認してもらうこともある。



5 エコドライブ座学

JAFのインストラクターによる「エコドライブ」の講義。燃費を向上させるための具体的な運転の仕方を参加者に解説した。この他、座学では鴨居自動車学校の教習指導員が追突事故防止のポイントを説明。



エコドライブを安全運転に活かす

現在、ディーラー交対協では、エコドライブの普及を推進しようとしている。今回の講習会でも、JAFのインストラクターによる「エコドライブ座学」が行われた。「地球温暖化やガソリン価格の高騰によ

り、エコドライブに関心を持つクルマのユーザーは多いはず。今回、初めての試みとして、エコドライブに関する内容を取り入れたところ、参加者にも好評でした」とディーラー交対協の城所さんはいう。「ふんわりアクセル」など、環境に配慮した運転は、事故防止にもつながると考えています。ディーラー交対協が主体となつて、このようなエコドライブの効果を各ディーラーのスタッフがお客様に説明できるように教育体制を整えています。

ディーラー交対協では地区ごとに毎年、春と秋に駅前などで街頭広報活動を行っている。2007年度は51地区から約1700人のディーラーのスタッフが参加したそうだ。「各地区でディーラー同士や、地元の警察署との連携を強化しながら、こうした交通安全活動に積極的に参加しています」と城所さん。様々な活動を積み重ねていくことで、ディーラー交対協は地域社会の交通安全に貢献している。



ディーラー交対協は独自ののぼりなどを制作し、街頭などで広報活動を行っている